

緊急事態対応計画書

所属：

担当者：

(内線)

項目	対応方法
1 保管場所及び種類	
2 管理担当者	
3 環境影響	
4 緊急時の連絡体制	
5 緊急時の措置	
6 作業指針等	
7 当該物質に関する情報	
8 定期的な確認	

緊急事態対応記録書

所属：

担当者：

(内線)

緊急事態等の概要	設備名		発生場所	
	発生日時			
	原因・被害状況（環境影響の内容）			
対応状況	発見者			
	措置状況			
	事後処理策			
問題点・課題等				

* 必要に応じて、写真等を添付してください。

緊急事態対応計画書

〇〇地方事務所 地域政策課 担当 〇〇〇〇 (内線)

項目	対応方法
1 保管場所及び種類	<p>重油地下タンク</p> <p>(1) A棟地下タンク貯蔵所 A重油 10,000 リットル</p> <p>(2) B棟地下タンク貯蔵所 特A重油 40,000 リットル</p>
2 管理担当者	〇〇地方事務所 地域政策課 主任 〇〇〇〇 (乙種第4類危険物取扱者)
3 環境影響	水質汚濁、土壌・地下水汚染
4 緊急時の連絡体制	<p>緊急事態確認者 → 地方事務所地域政策課総務係 (234-□□□□)</p> <p>→ 地方事務所環境課 (内線〇〇〇〇)</p> <p>→ 〇〇市消防局 (119)</p> <p>→ 〇〇市環境政策課 (235-□□□□)</p> <p>緊急対応可能業者 (株) 〇〇〇〇 (235-□□□□)</p> <p>※別途、連絡体制等を定めている場合は、参照先 (〇〇連絡体制図) を記載</p>
5 緊急時の措置	<p>流出があった場合には、まず上記連絡体制により関係機関に通報し、次の事項について対応する。</p> <p>(1) 補給時に流出した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水路への流入又は地下浸透を防止する処置を納入業者とともに行う。 ・火気取扱を禁止する旨、付近に周知する。 ・漏れ出した燃料の吸取りを緊急対応可能業者に要請する。 <p>(2) 地下タンク及び配管から地下浸透があった場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タンク内燃料の排出を緊急対応可能業者に要請する。 ・定期点検実施業者にタンク内調査を依頼する。 ・長野市保健所に報告し、水質汚濁の点で必要な対応事項を協議する。 <p>(3) 地震があった場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震後は油量の変化などを調査し、タンク内及び配管からの漏洩の有無を確認する。
6 作業指針等	「危険物取扱者保安講習テキスト危険物の保安管理 一般編 平成19年度版」 ((財) 全国危険物安全協会) 第4章 危険物施設の規制 第5章 危険物の震災対策
7 当該物質に関する情報	別紙MSDS (製品安全データシート) のとおり
8 定期的な確認	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回、重油の残量を確認すると同時に、臭いや周辺調査により重油の流出がないか確認する。 ・年1回、防災訓練等の機会に合わせて、対応計画の確認や対応の段取り等をチェックする。また、吸着マット等の保管場所、在庫を確認する。

緊急事態対応記録書

○○地方事務所 地域政策課

担当 ○○○○ (内線)

緊急事態等の概要	設備名	A棟地下タンク貯蔵所	発生場所	地下タンク給油場所
	発生日時	令和○年○月○日 ○時○分		
	原因・被害状況 (環境影響の内容) ・重油給油時にホースが外れ、敷地内側溝から、合同庁舎脇の水路に流出した。水路は一級河川○○に流れ込んでいる。 ・流出量は重油約500リットル ・水路から一級河川の間の水田で取水している場所はなく、農業への影響は無いと考えられる。 ・一級河川での油膜は見られない。 ・給油口付近の土壌の一部に油汚染がみられる。			
対応状況	発見者	重油給油業者		
	措置状況	・水路の油をオイルマットで吸着 ・○○川のオイルフェンスを設置 ((株) ○○○○に委託) ・給油口付近の土壌の入れ替え		
	事後処理策	・水路のオイルマットを定期的に交換 ・○○川河口での油膜の有無を一週間確認したが、油膜は確認できなかった。		
問題点、課題等	・給油中に担当者が不在であり、立会いをしていなかったため、連絡がスムーズに行われていない。 ・給油場所に緊急時の連絡先が掲示されていないため、給油業者 (発見者) から庁舎担当への連絡が遅くなった。 ⇒給油場所に緊急時の連絡先を掲示した。			

* 必要に応じて、写真等を添付してください。